【鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略　構成図】

資料4

《基本目標》

1. 地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする

（1）活力にあふれた強い地域経済を実現するための取組み	①地域資源を活かした産業イノベーションの推進 （ｱ）先端科学技術を活用した新産業・新事業の創出 （ｲ）地域産業のブランディング推進 （ｳ）地域の特性を活かした地域サービス産業の創出 ②地域金融機関と連携した地域経済活性化への取り組み	具体的な施策
（2）観光振興のための地域の連携体制の強化	①ユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化を中核とした観光地域づくりを推進する地域DMOの育成・支援 ②地域資源を活用した観光コンテンツづくり ③観光消費拡大等のための受入環境整備	
（3）農林水産業の成長産業化の推進	①ユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化を中核とした農林水産物の付加価値の向上 ②農業への若者就業を促進するため取組み ③林業の成長産業化 ④漁業の持続的発展	

2. 地域への新しいひとの流れをつくる

（1）地域への移住希望者に対する支援の強化	○地域移住希望者の視点・立場に寄り添った支援体制の充実 ○空き家、中古・リフォーム制度を活用した居住促進	具体的な施策
（2）企業の地方拠点強化策を活用した誘致活動の推進	○地域再生計画への企業等の地方拠点強化事業の盛り込み ○市独自の税制上の支援措置等の運用に向けた検討	
（3）地域高等教育・研究機関の一層の活性化の推進	①本市地域の高等教育・研究機関における学生の地域活動に対する支援強化 ②本市地域の高等教育・研究機関の学生地元定着の促進 ③地元高等学校、小・中学校と連携した若者回帰、地元定着の促進 ④公民連携型の地域活性化を担う人材の育成	

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

（1）地域の実態に即した少子化対策の推進	① 地域の実態に即して若い世代が子育てしやすい働き方の促進 ②少子化対策に関するPDCAの強化	具体的な施策
（2）結婚・妊娠・出産・子育て支援	①妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ②婚活活動の一層の促進 ③地域の特色を活かした幼児・学童保育の推進	

4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る

（1）コンパクトシティの形成	①社会基盤整備、遊休資産活用に関する政策間連携の推進 ②ひとの流れと活気を生み出す地域空間の形成 ③空き家対策等既存住宅ストックの有効活用 ④まちづくり活動に関する専門人材の育成・確保 ⑤まちづくりにおける官民連携、地域連携の推進	具体的な施策
（2）「小さな拠点」の形成（集落生活圏の維持）	①地域住民による集落生活圏の将来像の合意形成 ②地域の課題解決のための持続的な取組体制の確立 ③地域で暮らしていける生活サービスの維持・確保 ④地域における仕事・収入の確保 ⑤ 中山間地域等の持続性の確保	
（3）地域医療介護提供体制の整備等	①地域医療の維持に向けた医師確保対策の推進 ②雇用労働環境の変化に対応したサービス構造の改革	